

平成 16 年 11 月 8 日 平成 16 年度原子力・放射線安全管理功労者表彰  
記念パーティにおける祝辞

近藤駿介

皆様、こんにちは。ご紹介いただきました。近藤です。原子力・放射線安全管理功労者表彰を受けられた皆様には是非とも敬意を表し、お祝いを申し上げたく馳せ参じました。

イギリスのブレア首相の政治運営のバイブルといわれている「第三の道」という書物を著したアンソニー・デニンズ教授は、その著書のなかで、冷戦後の世界においては、政府の正統性は国民の生活に係るリスク管理をきちんとできるかどうかにかかっているとしています。こと左様に、今日、行政活動や産業活動においては、適切なリスク管理の実施が極めて重要になっています。

ところで原子力分野におきましては、皆様ご高承のとおり、その開発利用の初期の段階から、放射線に対する国民の関心の高さや核物質のもつ国際政治上の関心の高さを反映して、これらのもたらすリスクを適正水準に管理することを原子力利用に係る利益を享受するための前提条件とし、そのための制度、組織、そしてそこで使う規則や基準を制定し、運用し、その運用の適正管理に当たる、高度の専門性と高い倫理性を備えた人々を整備してきております。したがって、原子力行政や原子力産業におけるリスク管理活動は、いま現代社会のあらゆるところで試行錯誤を行いつつ進められているリスク管理活動の推進者に対して大いなる知見を提供できるはずであり、実際、今日の社会における安全問題の多くに原子力安全確保活動において培われた制度、組織、人のあり方に関する知識が効果的に応用されていることを見出すことができます。

最近に至り、自信過剰からか、他の分野において行われている努力に学ぶことを忘れて、井の中のかわずになっている人、組織、制度も無いわけではないことを恐れるものですが、今日はお祝いの席ですからそれは脇に置き、今日の複雑な世の中において原子力利用活動が生き延びていくための鍵を握るのが、これのリスク管理を適切ならしめる制度、組織、人であるところ、今日表彰を受けられた皆様は、この三要素の一つである高度の専門性と高い倫理性を備えた人の良き見本であります。

勿論、制度無くして組織無く、組織無くして人は無しですが、他方、人無くして組織は成立せずです。我が国の原子力開発利用が今日までかくのごとく長らえてきたのは、皆様のこれまでのご活躍のおかげと心から感謝申し上げるとともに、引き続きのご活躍とご健勝を心からお祈り申し上げ、さらに今後はいくばくかの時間を後進の指導にお割きいただくことをお願い申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。